

# 令和3年度 鶴岡市経済対策会議

日時 令和3年6月2日（水）

午後1時30分～午後3時20分

場所 庄内産業振興センター 第1研修室

## 次 第

### 1 開 会

### 2 あいさつ

### 3 説 明

- (1) 本市の新型コロナウイルス感染症対策事業（経済対策）について
- (2) 令和3年度の市商工観光部の取組について
- (3) キャッシュレス促進・消費喚起事業の実績及びアンケート結果について

### 4 報 告

- ・各機関からの現状報告

### 5 意見交換、オブザーバーからの意見・助言

### 6 そ の 他

### 7 閉 会

## 出席者名簿

開催日：令和3年6月2日（水）午後1時30分～

場 所：庄内産業振興センター 第1研修室

### 1. 出席者（敬称略）

団体・機関名	職 名	氏 名
鶴岡商工会議所	会頭	加藤 捷男
	専務理事	高橋 健彦
出羽商工会	会長	上野 隆一
鶴岡市金融協会（株式会社庄内銀行）	（本店営業部長）	松田 正彦
連合山形鶴岡田川地域協議会	事務局長	渋谷 広之
鶴岡公共職業安定所	所長	松田 政之
山形県庄内総合支庁	支庁長	高橋 正美
鶴岡市	市長	皆川 治
	企画部長	伊藤 敦
	商工観光部長	佐藤 正胤

### 2. 事務局

企画部	政策企画課長	上野 修
商工観光部	商工課長	白井 覚
	観光物産課長	剣持 健志
	商工企画主幹	坂口 礼奈
	観光物産課 課長補佐	大宮 将義
	商工課 課長補佐	鈴木 真
	商工課 主査	本間 育子
	商工課 商工専門員	安達 文和
	商工課 商工専門員	鈴木 崇

# 新型コロナウイルス感染症対策に関するアンケート調査結果について【食文化創造都市推進課・鶴岡食文化創造都市推進協議会】

資料1-1

## 【アンケート概要】

- 目的：市内飲食店の現状と本市で令和2年度に実施した各種支援策等に対する効果・成果・課題等の把握と今後の施策に参考とするため
- 対象：令和2年12月～2月に本市で実施した「飲食店等緊急支援金給付事業」の交付を決定した事業所・店舗（以下、店舗と記載）704店舗
- 時期：令和3年4月26日～5月11日
- 方法：対象店舗にアンケート調査票を送付し、FAXまたは郵送・メールで回答を集約

## 【アンケート結果(全体)】

- 送致数 **704店舗**
- 回答数 **258店舗**
- 回答率 **36.65%**

※個別結果、考察については下記記載

## 1. 店舗区分(ジャンル) 別回答割合

店区分	回答割合	店区分	回答割合	店区分	回答割合
スナック・BAR	31.65%	焼肉店	30.00%	仕出し・惣菜・弁当店	40.54%
居酒屋	26.13%	寿司店	33.33%	パン・菓子店	12.50%
飲食店	48.32%	日本料理店	50.00%	喫茶店	32.35%
食堂	33.33%	専門料理店	42.30%	そば・うどん店	50.00%
焼き鳥店	28.57%	ラーメン店	32.20%	その他	33.33%

### 【結果・考察等】

- 対象店舗の多い「飲食店」「スナック・BAR」「ラーメン店」など平均的に3割以上の回収率を得ることが出来た。
- アンケート用紙を2枚とし、選択肢も簡易な形で回答側の負担を減らしたことが回収率の高さに繋がった。
- 回答方法は、FAXが8割、郵送が1割、メールが1割であった。

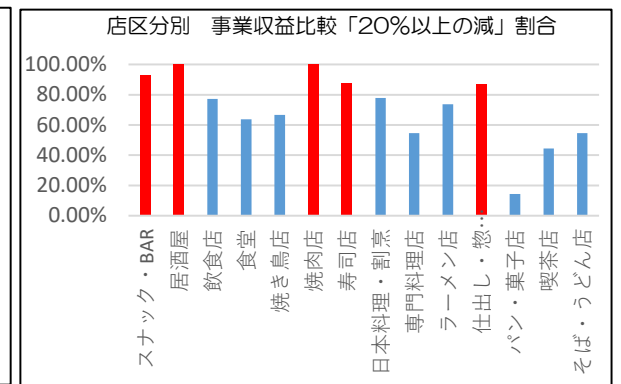
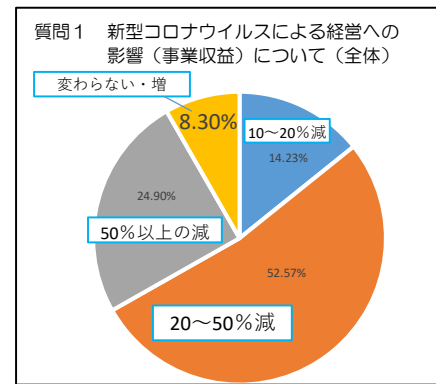
## 2. 新型コロナウイルスによる経営の影響(事業収益)について

### 【全体】

質問1 新型コロナウイルスによる経営への影響(事業収益)について	回答数	回答率
1 令和2年と令和元年の事業収益を比較すると変わらない・増	21	8.30%
2 令和2年と令和元年の事業収益を比較すると10～20%の減	36	14.23%
3 令和2年と令和元年の事業収益を比較すると20～50%の減	133	52.57%
4 令和2年と令和元年の事業収益を比較すると50%以上の減	63	24.90%

### 【店区別】

店区分	回答数 ※アンケート全体に対する回答数	事業収益比較							
		増減なし・増		10～20%減		20～50%減		50%以上減	
スナック・BAR	44	1	2.33%	2	4.65%	31	<b>72.09%</b>	9	20.93%
居酒屋	29	0	0.00%	0	0.00%	15	<b>53.57%</b>	13	46.43%
飲食店	72	6	8.57%	10	14.29%	39	<b>55.71%</b>	15	21.43%
食堂	11	0	0.00%	4	36.36%	4	36.36%	3	27.27%
焼き鳥店	6	0	0.00%	2	33.33%	3	<b>50.00%</b>	1	16.67%
焼肉店	3	0	0.00%	0	0.00%	2	<b>66.67%</b>	1	33.33%
寿司店	8	1	12.50%	0	0.00%	3	37.50%	4	<b>50.00%</b>
日本料理店	9	1	11.11%	1	11.11%	2	22.22%	5	<b>55.56%</b>
専門料理店	11	3	27.27%	2	18.18%	5	45.45%	1	9.09%
ラーメン店	19	2	10.53%	3	15.79%	9	47.37%	5	26.32%
仕出し・惣菜・弁当店	15	0	0.00%	2	13.33%	9	<b>60.00%</b>	4	26.67%
パン・菓子店	8	2	25.00%	4	50.00%	2	25.00%	0	0.00%
喫茶店	11	4	44.44%	1	11.11%	2	22.22%	2	22.22%
そば・うどん店	11	0	0.00%	5	41.67%	7	<b>58.33%</b>	0	0.00%
その他	1	1	100.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
<b>合計</b>	<b>258</b>	<b>21</b>	<b>8.30%</b>	<b>36</b>	<b>14.23%</b>	<b>133</b>	<b>52.57%</b>	<b>63</b>	<b>24.90%</b>



### 【結果・考察等】

- 全体では9割以上の店舗で昨年度比事業収益減となっており、約8割の店舗が昨年度比20%以上の減と答えている。
- 「スナック・BAR」「居酒屋」は回答数(対象数も)が多く、その回答についても9割以上の店舗が昨年度比2割以上の減、特に「居酒屋」は回答店舗全てが2割以上の減であり、最も影響を受けた店区分と推察できる。

## 3. 令和2年度に鶴岡市で実施した施策・取組みに対しての効果・成果及び制度利用結果

### 【施策・取組み比較による結果・考察等】

- ④及び⑥の給付事業(直接店舗に支給)は制度利用割合並びに効果有の回答率が高い傾向にあった。
  - 小規模事業者新しい生活様式対応支援事業は、制度利用割合並びに効果有り割合が高く、店舗側からの再実施の声も多かった。
- ◎今回のアンケート集計は、店舗側からの回答による集計結果のため、今後の取組み・施策検討の際は、予算規模等による費用対効果なども検証すること必要と考える。

1	回答数・回答率								5
	2	3	4						
自店の経営継続、事業収益に効果があった	自店にはあまり効果はなかったが、市内飲食店には効果があった(と思う)	自店にも市内飲食店にも効果はあまりなかった(と思う)	制度・事業についてはよく分らない(利用していない)					制度利用割合	
①鶴岡市プレミアム付き飲食券事業(5月～9月)	110	43%	70	27%	7	3%	70	27%	<b>73%</b>
②鶴岡市飲食店宅配人材確保事業(5月～9月)	2	1%	27	11%	31	12%	196	77%	23%
③店舗賃料緊急支援事業(4月～5月)	86	34%	35	14%	16	6%	118	46%	54%
④鶴岡市緊急経営改善支援金給付事業(5月～6月)	138	<b>54%</b>	29	11%	16	6%	74	29%	<b>71%</b>
⑤鶴岡市経営継続支援事業(6月～8月)	102	<b>40%</b>	24	9%	11	4%	119	46%	54%
⑥小規模事業者新しい生活様式対応支援事業(4月～12月)	137	<b>54%</b>	27	11%	16	6%	72	29%	<b>71%</b>
⑦飲食店等緊急支援金給付事業(12月～2月)	190	<b>75%</b>	24	9%	14	6%	26	10%	<b>90%</b>
⑧キャッシュレス促進・消費喚起事業(3月～4月)	105	<b>42%</b>	53	21%	4	2%	90	36%	64%
⑨食べて応援運動(テイクアウトメニュー等の周知)	29	12%	64	25%	25	10%	134	53%	47%
⑩おうち忘年会・テイクアウト歓迎迎会の取組み	12	5%	56	22%	32	13%	152	60%	40%

※右上グラフに続く

## アンケート コメント一覧(主なものを抜粋して掲載)

●プレミアム付飲食券事業(5月～9月)は特に効果大であった。6月～9月は対前年比10%以上の売上UPとなった。ペイペイ利用(3月～4月)も効果大であった。1日売上の50%前後はペイペイ利用だった。対前年比相当の売上UPだった。
●ペイペイはお客様から不公平だという意見もある。店舗賃料支援は、当店テナント3軒が利用し、助かったという声があった。緊急支援金給付事業は、忙しい中大変だったが、納税・売上に応じた対応をお願いしたい。県クーポンの発行は有難かったが、友人・家族全員の名前で大量購入する方が前回もいたので、欲しい方を買ってもらえない。
●給付(定額)事業は自営や少数店舗には良い効果があったと思うが、当社のように複数店舗を経営している会社にはほぼ効果がない。ペイペイは集客効果があったので、チケット(商品券)などの事業に力を入れていただきたい。
●店舗賃料支援は、家賃の方へは補助、借入をした方には補助なしというのは不平等と思う。
●飲食、消費喚起を促すための様々な提案・取組みについて、大変有難く感謝している。周知や申請方法等をより簡便で分かりやすくしていただけると、更に利用できるようになると思う。
●継続的な飲食店に対する支援事業や給付事業に心より感謝する。支援がなければ廃業も考えていたかもしれない。ギリギリではあるが、何とか踏ん張っているのが現状。店側の取組み「テイクアウト」や「宅配」事業へはなかなか着手できず、どれほどの効果があったのかの検証は必要と思う。現在、クラスターの発生もあり、自主休業中だが、今後更なる感染者増の場合は市としての対策や支援が必要だと思う。
●様々な御支援、応援ありがたい。飲食店については、他の業種より手厚い支援策を講じて頂き感謝している。お願いを申し上げるなら、ネット環境がない方、商工会などに属さない個人にも支援策の案内をもれなく届けて頂ければありがたいと思う。宜しく願いたい。
●過去の納税額や、売り上げによって金額を決めてもらえると良かった。もらえないよりはもらえた方が助かったが、スズメの涙程度であり助からなかった。(2店舗閉めた)
●コロナ後を見据えた細やかな経済対策を推進していただければありがたい。例えば、固定資産税や法人税を下げたりするなど直接会社にメリットがある事など。
●「鶴岡市小規模事業者経営継続支援金」交付要件(2)で、1月の売上が前年度、売上がなし(大災修理のため休業)で、対比出来ず、2月、3月は30%に少し届かず、「例外は認めず」と言われたけど、令和1年の売上と比較すると50%以上減少、それが今も引きずっている。
●市・県・国からの支援金など大変助かっている。当店のコロナ対策は手洗い、消毒、マスク着用、連絡取れるお客様など、基本的な対策はとっているつもりだが、パーテーションなどの設置をどのようにしていいのかわからず(またその他の設置とかも、どこまでしたらいいのか)悩んでいる。できればアドバイスをうけてからパーテーションなど設置したいと思う。経営に関しては、この1年毎月ほぼ30%～50%以上減、今年に入ってからは特にひどく70%以上減と店を開けてもマイナスの日々が続いている。また、幸い私は税理士とか周りの情報で支援金などの申請できたが、HPなどでの情報ではわかりにくい。
●効果が大きい程、単価の高い、焼き肉や寿司に流れている気がします。非常にありがたい制度で利用されたお客様も大変大勢いらっしゃいましたが、一度お得に食べたお客様が期間が終了した後に戻らず、日に日に客足減っている気がします。(go to eat、トラベル、paypay、山形クーポン込みで危険な空気がメチャクチャします)
●ほとんどの支援策対応期間に7月～9月を入れてほしい。羽黒町手向地区の宿坊関係は6月～10月で約1年分の収益をあげている(関連で酒・米・野菜・魚・その他多くの業者が影響を受けている)例:鶴岡市小規模事業者経営継続支援会の交付要件(1)の“1月～3月までのいずれか1か月の売上が20万以上”
●色んな支援事業があるが私共のような業種にはあてはまらないものが多く業種に合わせた支援策を希望する。キャッシュレス推進消費喚起事業は大変良かったと思うが、欲を言えばもう少し長くやってもらいたいものだ。(コロナがある程度終息するまで)
●様々な制度があるのによくわからない。申請が難しすぎる。※鶴岡市にも申請難民はたくさんいるはず。
●飲食店に対しての補助も助かりますが・・・コロナ禍徐々に明けるのか?一気に明けるのか?わかりませんが明けた時の観光インバウンドに向けての誘致法なども対策して欲しいです。地元民への観光地などの魅力の再確認etc・・・(何もない→何でもあるといった意識改革)
●お世話になっており、深く感謝している。私事ではあるが現状努力不足もあり、非常に厳しい経営となっている。支援金1回限りじゃなく続けてほしいと思っているのは当店だけでは無いと思う。ちなみに4月1日～5月9日来店者6名
●緊急事態宣言やまん防も宣言しない中での外出自粛宣言は厳しい。早急に助成金などに対応して欲しいです。負債がどんどん大きくなっていくのみ。
●社員雇用(継続)数に応じた対策に強化すべき段階に来ていると確信いたします。コロナ禍は一年経過していますし、今後一年後のワクチン集団免疫後では行政支援は無しで良いので、今こそ社員10名単位、30名単位、50名単位、80～100名単位の中小企業への社員数規模支援に5億予算化し、廃業・倒産を防ぐべきタイミングであろうと思う。

# 本市の新型コロナウイルス感染症対策事業（経済対策）について

資料1-2

5月31日作成

## 主な経済対策事業の支援実績等

事業名	概要	支援実績
<b>鶴岡市小規模事業者経営継続支援金</b>  予算額 551,000千円	新型コロナウイルス感染症の影響により売上が減少した小規模事業者の経営継続を応援するため、鶴岡市独自に支援金を支給します。 ◎給付額 一事業者あたり一律20万円 ◎支給対象 市内に事業所を有する法人又は個人で、小規模事業者の要件を満たす者 ◎要件 <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年1月から令和2年3月までのいずれか1ヶ月の売上が20万円以上あること</li> <li>・令和3年1月から令和3年3月までのいずれか1ヶ月の売上が前年同月と比較し30%以上減少していること</li> </ul> 等	交付決定数 846件
<b>雇用調整助成金申請代行補助事業</b>  予算額 52,000千円	市内に住所を有する事業所の事業主に対し、雇用調整助成金又は緊急雇用安定助成金の申請を社会保険労務士等に委託した場合の申請に係る経費を支援します。 ◎補助金額 1事業所あたり上限40万円（令和2年度にも交付を受けている場合はその差額） ◎対象 国の定める特例措置期間内（令和2年4月1日から令和3年4月30日まで）に休業を実施した場合 ◎申請期限 令和3年11月30日まで	交付件数 88件 令和3年度は5月26日より 受付開始
<b>キャッシュレス促進・消費喚起事業</b>  予算額 470,000千円	キャッシュレス決済事業者であるPayPay(株)と連携した消費者ポイント付与キャンペーンを実施し、市内事業者を支援するとともに、感染症対策やインバウンド向け地域消費拡大等のため、キャッシュレス決済導入を促進します。 ◎付与額 PayPay残高での決済額の20%（最大）相当額（付与上限…2,000円相当/回、10,000円相当/月） ◎対象者 鶴岡市内の対象店舗にて上記決済をした消費者 ◎対象店舗 市内のPayPay加盟店（大手チェーン店、コンビニエンスストア、ドラッグストア等を除く）	付与ボーナス総額 293,562千円
<b>鶴岡泊まって応援 キャンペーン事業補助金</b>  予算額 110,000千円	GoToトラベル事業を利用して市内宿泊施設を利用（宿泊代金5,000円以上）する市民に、宿泊代金最大3,000円を割引くとともに宿泊特典（市特産品）の提供を行います。 ◎対象期間 令和2年8月1日～令和4年2月28日 ※宿泊施設の割引配分数がなくなり次第終了 ※各宿泊施設における本事業への登録完了後の宿泊分が対象	対象施設 44件 割引数 7,624人泊
<b>買物代行・宅配サービス支援事業</b>  予算額 9,000千円	タクシー・ハイヤー事業者が取組む「買物代行」「宅配サービス」の運行経費等に助成を実施し、市民の皆さんが安価にサービスを受けることができますようにします。 ◎対象者 市内のタクシー・ハイヤー事業者で「買物代行」「宅配サービス事業」を実施することにつき許可等を受けている事業者 ◎給付金額 <ul style="list-style-type: none"> <li>①事業化補助 1事業者につき1万円</li> <li>②運行実績補助 1回の利用料金2,500円まで、利用者負担金500円を除いた額を助成（上限2,000円）</li> </ul> ※令和2年度は1運行当たりの補助上限を1,500円として実施	交付決定件数 8件 サービス利用件数 828件
<b>失業者正規雇用奨励金</b>  予算額 28,600千円	新型コロナウイルス感染症の影響による雇用主都合で離職された市民を正規雇用した事業主に対して奨励金を交付します。 ◎奨励金額 <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象労働者一人につき月額賃金の1/2（最大10万円×6か月）、1事業者につき最大200万円</li> </ul> ◎対象者 <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内に事業所を有する雇用保険適用事業者であること</li> <li>・令和3年4月1日以降に対象労働者を正規雇用し、6ヶ月以上継続して雇用していること</li> <li>・市税等を滞納していないこと</li> </ul>	令和3年4月より事業実施中

# 本市の新型コロナウイルス感染症対策事業(経済対策)について

## これまでの経済対策事業一覧

### ●金融支援

事業名	概要	支援実績
<b>金融対策事業</b> 予算額 3,980,993千円	①長期安定資金Ⅱ・2号：経営に支障を来している中小企業・小規模事業者の資金繰りを支援し、経営の安定化を図るため、利子及び信用保証料を市が補給し、事業者が無利子となる金融支援 ②中小企業緊急災害対策資金利子補給金：県と市で協調した利子補給を行い、事業者が無利子となる資金融資	① 373件 ② 684件
<b>金融対策事業</b> 予算額 612,000千円	中小企業緊急災害対策及び長期安定資金Ⅱ・2号に係る利子及び信用保証料の支払いのため、地方創生臨時交付金を財源とする緊急経済対策金融支援基金への積立	/

### ●雇用支援

事業名	概要	支援実績
<b>雇用維持事業</b> 予算額 15,000千円	雇用維持に係る助言および情報提供（主に雇用調整助成金）、職員や社会保険労務士による雇用調整助成金等に係る個別相談会、雇用調整助成金の申請に係る研修会の開催の実施	相談件数 204件
<b>雇用調整助成金申請代行補助事業</b> 予算額 52,000千円	雇用調整助成金又は緊急雇用安定助成金の申請を社会保険労務士等に委託した場合に、申請に係る経費を支援（1事業所あたり上限40万円）	交付件数 88件
<b>雇用確保事業</b> 予算額 5,300千円	鶴岡地区雇用対策協議会が行うオンラインを活用した動画による企業紹介及び学生等と地元企業とのマッチング事業に係る補助金	/
<b>失業者正規雇用奨励金</b> 予算額 28,600千円	新型コロナウイルス感染症の影響による雇用主都合で離職された市民を正規雇用した事業主に対する奨励金	令和3年4月より事業実施中

●交通事業者支援

事業名	概要	支援実績
<b>交通事業者等緊急支援事業</b> 予算額 7,525千円	交通事業者等の事業継続を支援するため、所有する車両に係る固定経費の一部に相当する額を給付 ・タクシー（10人以下乗り車両） 20,000円/1台 ・バス（11人以上乗り車両） 55,000円/1台 ・運転代行随伴車 15,000円/1台	交付件数 44件
<b>買物代行・宅配サービス支援事業</b> 予算額 9,000千円	タクシー・ハイヤー事業者が「買物代行」「宅配サービス」事業に取り組む際に、周知・感染予防に関する経費及び運行実績に関する経費に対して支援を実施し、市民の利用拡大を推進 ①事業化補助 1事業者につき1万円 ②運行実績補助 1回の利用料金2,000円まで、利用者負担金500円を除いた額を助成（上限1,500円） ※令和3年度から1運行当たりの補助上限を1,500円から2,000円に増額して実施	交付決定件数 8件 サービス利用件数 828件 （4月30日時点）
<b>地域公共交通維持対策事業</b> 予算額 19,500千円	①県との協調による路線バス事業者に対する補助金 ②事業継続と雇用維持のため、運転代行業者に対して車両維持経費の一部相当を支援（1台につき2万円） ③貸切バス・タクシー・ハイヤー事業者に対し、感染症拡大防止設備等の導入等に必要経費を支援（上限30万円）	交付決定数 37件

●飲食業支援

事業名	概要	支援実績
① <b>宿泊・飲食業緊急支援事業</b> <b>（鶴岡市プレミアム付飲食券事業）</b> 予算額 100,000千円	市内の飲食店（テイクアウト・デリバリーを含む）の利用促進のため、市民向けのプレミアム付飲食券を販売 （1冊6,000円分（500円券×12枚綴り）の飲食券を3,000円で販売）	発行枚数 31,333枚 加盟店数 496店
② <b>飲食店宅配人材確保事業</b> 予算額 9,000千円	飲食店が運転代行業者の従業員を雇用し、新規又は拡充して宅配サービス事業に取り組む場合の新規に雇用する人件費相当分を支援 （上限30万円）	交付件数 21件
⑦ <b>飲食店等緊急支援金給付事業</b> 予算額 152,000千円	忘年会・新年会・会合等の自粛により影響を受けている飲食店に対し、事業継続のため飲食店等緊急支援金を支給（1店舗 20万円）	交付決定店舗数 743店

●宿泊業支援

事業名	概要	支援実績
<b>鶴岡泊まって応援キャンペーン事業</b> 予算額 110,000千円	市内の宿泊施設を利用する市民への宿泊割引（最大3,000円）及び特産品の進呈（1,000円）を行う「鶴岡泊まって応援キャンペーン」事業の実施に係る補助金	対象施設 44件 割引数 7,624人泊 (3月31日時点)
<b>宿泊業緊急支援事業</b> 予算額 120,000千円	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている宿泊事業者に対する補助金(令和2年度固定資産税額の2分の1相当額)	交付件数 112件
<b>宿泊施設等広告宣伝費等支援事業補助金</b> 予算額 55,000千円	市内の宿泊施設等が行う広告宣伝経費等に係る補助金(令和2年度固定資産税額の4分の1相当額を上限)	交付件数 67件

●中小企業支援

事業名	概要	支援実績
<b>地域内企業の高度化、企業活性化支援事業</b> 予算額 5,000千円	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている中小企業が売上げ回復等のため、新製品開発・販路開拓の取組に対するものづくり振興事業補助金	交付件数 11件 (「コロナ対策事業」で採択したのは7件)

●小規模事業者支援

事業名	概要	支援実績
<b>⑥ 小規模事業者新しい生活様式対応支援事業</b> 予算額 158,119千円	県の補正に伴う新型コロナウイルス感染症の影響を受けている小規模事業者の感染症予防対策及び新たな生活様式への対応に係る補助金(下限2万円～上限10万円 補助率10/10)	交付決定件数 1,678件
<b>鶴岡市小規模事業者経営継続支援金</b> 予算額 551,000千円	新型コロナウイルス感染症の影響により売上が減少した小規模事業者の経営継続を応援するため、鶴岡市独自の支援金(一事業者あたり一律20万円)	交付決定数 846件 (5月31日時点)



●農林水産業支援

事業名	概要	支援実績
<p>花き・山菜次期作緊急支援事業</p> <p>予算額 8,000千円</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響を受けている花き・山菜生産者の次期作に向けた種苗、資材費等に係る補助金</p> <p>① 1経営体当たり2万円</p> <p>② 面積加算額 3万円/10a (6万円上限)</p>	<p>交付件数 87件</p>
<p>県産花き次期作支援事業</p> <p>予算額 5,088千円</p>	<p>県の補正に伴う新型コロナウイルス感染症の影響を受けている花き生産者の次期作に向けた種苗導入に係る補助金 (補助率2/3(県1/3・市1/3))</p>	<p>交付件数 5件</p>
<p>肉用牛肥育経営緊急支援事業</p> <p>予算額 1,600千円</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響を受けている肉用牛肥育農家の販売価格下落に対する補助金 (肥育牛の標準的販売価格と標準的生産費の差額の10%)</p>	<p>交付件数 137頭分</p>
<p>水産業持続化緊急支援事業</p> <p>予算額 17,149千円</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響を受けている漁業者の出荷資材(発砲スチロール製魚箱及びコンテナ)購入費に係る補助金 (購入経費の1/3)</p>	<p>交付件数 214件</p>
<p>農水産物販促・飲食等需要喚起事業</p> <p>予算額 14,634千円</p>	<p>鶴岡食文化創造都市推進協議会が実施する農水産物販促・飲食等需要喚起事業に係る補助金</p> <p>①魚の美味しいまち鶴岡キャンペーン</p> <p>②鶴岡のんめえ新そばキャンペーン</p>	
<p>主食用米転換緊急支援事業</p> <p>予算額 20,000千円</p>	<p>令和3年産主食用米を非主食用米や大豆、そば等の戦略作物や園芸作物に転換を促すため、インセンティブとなるような新たな転換(主食用米の削減)分に対して支援(削減面積10a当たり5,000円)</p>	<p>交付件数 7件</p>

●その他

事業名	概要	支援実績
④ <b>鶴岡市緊急経営改善支援金給付事業</b> 予算額 96,000千円	県からの企業等の活動の自粛要請に協力した山形県緊急経営改善支援金の受給事業者へ上乗せする市独自の支援金（10万円）	交付件数 870件
⑤ <b>鶴岡市経営継続支援事業</b> 予算額 520,000千円	国の持続化給付金の基準を満たさないものの、売上の減少した事業者に対する市独自の基準による経営継続支援金（20万円）	交付件数 451件
③ <b>店舗賃料緊急支援事業</b> 予算額 70,000千円	店舗を賃借している小売業・飲食サービス業で、一定以上の期間、休業や時間短縮営業をした場合に、店舗またはその敷地の賃料の一部を補助 （1店舗につき上限10万円（賃料月額の8割））	交付件数 333件
<b>ワーケーション推進事業</b> 予算額 22,000千円	リモートワーク、ワーケーションの環境整備等を行う観光協会等の団体又は宿泊事業者に対する補助金 ① 観光地等の観光協会、旅館組合等 上限500万円 ② ①に含まれない宿泊事業者 上限25万円	交付件数 4件
⑧ <b>キャッシュレス促進・消費喚起事業</b> 予算額 470,000千円	PayPay(株)と連携した消費者ポイント付与キャンペーンを実施し、市内事業者を支援するとともに、感染症対策やインバウンド向け地域消費拡大等のため、キャッシュレス決済導入を促進 （PayPay利用時、最大20%のPayPayボーナスを付与）	付与ボーナス総額 293,562千円

資料 2

# 令和 3 年度 市商工観光部の取組について

# 雇用調整助成金申請代行補助事業

【繰越明許費：28,000千円】

県との協調事業として、感染症による影響を受ける市内事業所の雇用維持の取組を支援するため、雇用調整助成金の申請代行に係る社会保険労務士等への手数料に対し補助を行う。

## ○補助対象者

- ・ 鶴岡市内に住所を有する事業所の事業主で、社会保険労務士等に雇用調整助成金の申請代行を委託した者

## ○補助対象経費

- ・ 雇用調整助成金の特例措置期間内（令和2年4月1日～令和3年4月30日）の支給申請に係る事務代行に要する費用

## ○補助金額

- ・ 1事業所あたり上限40万円（1,000円未満切捨、消費税及び地方消費税は除く）。

また、令和2年度において当補助金の交付決定を受けている場合は、40万円からその金額を除いた額。

- ・ 複数月分まとめて申請可。複数回での申請可。

○申請期限 令和3年11月30日

○実績 18,060千円（88事業所）（令和2年度実績）

# 鶴岡市失業者正規雇用奨励金事業【新規】

【当初予算額：28,600千円】

新型コロナウイルス感染症の影響により、雇用主都合で離職された方の早期再就職を支援するため、該当する方を正規雇用労働者として新たに雇用した市内企業の事業主に奨励金を交付する。

## ○対象事業主の主な要件

- ・市内に事業所を有する雇用保険適用事業所であること。
- ・対象労働者を令和3年4月1日から令和4年3月31日までの間に正規雇用し、6か月以上継続して市内で勤務させていること。
- ・市税の滞納がないこと。

対象労働者…令和2年4月16日以降、新型コロナウイルス感染症の影響による事業主都合で解雇された方で、正規雇用の時点で鶴岡市内に住所を有し、その後も継続して鶴岡市民である方。

**○交付金額** 対象労働者の月額賃金×1/2（1,000円未満切捨て、上限10万円）の6か月分合計  
（1事業者への交付上限200万円）

**○申請期間** 対象労働者を正規雇用後最初の賃金締切日の翌日から6か月経過後30日以内  
（正規雇用から30日以内に「鶴岡市失業者正規雇用奨励金交付申請前届出書」を提出）

**○事業費** 奨励金 28,500千円（対象労働者60名を想定） 印刷製本費 100千円

# 小規模事業者経営継続支援事業（コロナ第3波対応型）

【繰越明許費：551,000千円】

新型コロナウイルス感染症第3波及び第2回目の緊急事態宣言の影響を受け、売上減少により経営が厳しい状況にある小規模事業者等に対して経営継続のための支援金を交付する。

## ○交付対象

- ・市内に事業所を有する小規模事業者又は個人事業主であること。
- ・令和3年1月から3月までの3カ月のうち、いずれかひと月の売上が前年同月比で30%以上減少していること。
- ・令和2年1月から3月までの3カ月のうち、いずれかひと月の売上額が20万円以上あること。

○支援金額 1事業所あたり一律200千円

○申請期間 令和3年3月から7月末まで

○事業費 ①支援金 550,000千円（交付見込：2,750事業所×200千円）

②事務費 1,000千円

○財源 地方創生臨時交付金 551,000千円

○実績 169,200千円（846事業所）（5月31日現在）

# 新規創業促進助成金【新規】

【当初予算額：20,000千円】

経営力の高い新規創業の促進、県外からのUIJターン人材の市内における開業促進による市内産業の活性化を図るため、創業支援機関と結びつき事業を実施する新規創業者等に対し助成金を交付する。

## ○助成対象者

令和2年4月1日以降に市内に事業所を開業した市民であって以下の条件を満たす者。

- ・ 創業支援機関において創業に必要な知識を習得した新規創業者
- ・ 県外からUIJターンし開業した個人事業主等で創業支援機関とつながりを持ち事業を行うもの

## ○助成対象経費

令和3年4月1日以降に発生した開業に係る諸経費

- ・ 汎用性の高い備品の取得を除く。
- ・ 家賃、リース料は契約初月から3カ月分を対象とする。等の対象経費の制限あり

○助成金額 助成対象経費の3/4 (上限額 個人事業主30万円、法人50万円)

○申請期間 令和3年6月から令和4年3月まで(予算の範囲内)

※開業後3カ月を経過した日の翌月から申請受付

○事業費 2,000万円 想定件数50件 (30万円×25件 50万円×25件)

# つるおか食のイベント支援事業補助金【新規】

【当初予算額：3,600千円】

- ・ 飲食・小売店を中心としたコロナ感染症対策を講じた上で実施する賑わい創出事業を支援
- ・ 中心市街地や商店街組織に限定せず、市内の複数事業者による賑わい創出のためのイベント等の取組みに対し、広告宣伝費及びイベント実施費用を補助
- ・ 令和4年度事業（令和3年度プレ事業）として食文化協議会が行う「食と食文化の魅力プロモーション事業」内での実施を想定し、地域の食と食文化を生かした意欲的な取組を重点支援する

## ○取組概要

- ・ 各地域が主導する食関連のイベント開催を支援する（商工課）
- ・ 「食のイベントカレンダー」に掲載するためイベント開催時の取材や撮影を行い、カレンダーを作成して情報発信をする（食文協）

○支援金額 補助上限20万円 補助率2/3  
※学生が主となる事業に限り10/10補助

○実績 485千円（4月30日現在）



# 観光分野における現状及び各種支援等の状況について（その1）

## 【各種支援等の状況】

6月2日時点

令和3年度の事業		
国	<p><b>【継続事業】「GoToトラベル事業」※一時停止中</b>                      宿泊・旅行代金の35%分を割引、15%分の地域共通クーポンを付与</p> <p><b>【新規事業】「既存観光拠点の再生・高付加価値化推進事業」※観光庁へ申請中</b>                      新型コロナウイルス感染症の影響により危機的状況にある観光拠点が、面的に再生できるような施設改修・廃屋の撤去などの取組みを短期集中で支援することで、地域全体の魅力及び収益力の向上を図ることを目的とする。</p>	GOTOトラベル事業については、再開時期・期間について現時点で未定
県	<p><b>【新規事業】「やまがた夏旅」～県民泊まってお出かけキャンペーン～</b>                      県民が県内の宿泊施設に宿泊または、旅行代理店が販売する日帰り旅行商品を利用した場合、1泊（日帰りの場合1日）あたり、宿泊代金（日帰りの場合旅行代金）を最大5,000円割引（1,000円につき500円割引）するとともに、土産物屋等で使える2,000円のクーポン券を提供 期間：令和3年12月31日宿泊分まで</p> <p><b>【継続事業】「県民泊まって元気・応援キャンペーン」※現在も継続実施中</b>                      ・元気CP：宿泊代金1000円につき500円の割引（最大5000円まで）                      ・応援CP：宿泊代金10000円以上で5000円の割引</p>	
市	<p><b>【継続事業】「鶴岡泊まって応援キャンペーン」※現在も継続実施中</b>                      市民がGoToトラベル事業を利用して、市内宿泊施設に宿泊した場合、宿泊代金を最大3000円割引、1000円相当の市特産品を贈呈 ※県事業との併用は不可</p> <p><b>【新規事業】「リモートワーク・ワーケーション推進支援事業」</b>                      令和2年度において、4温泉ではリモートワークの受入体制を整備しワーケーション誘致の活動を展開している。                      また、山形県と連携し由良地域を拠点とし「釣りケーション」について実証実験を予定している。</p> <p><b>【新たな取り組み】「教育旅行の誘致活動」</b>                      コロナ禍における教育旅行の目的地として、本市を選んでもらうための誘致活動として令和2年度「まなぶつるおか」を発行している。                      冊子の他、デジタル版も作成し旅行エージェント向けに活用している。</p>	令和2年度修学旅行来鶴実績 *98校（小中高）

### 【市内観光動向の現状】

首都圏等に発出された緊急事態宣言や県境を越える往来の自粛により、市内の主要観光地の5月の大型連休中の入込客数は、一昨年の令和元年度と比較し約7割の減少。

今後も、首都圏及び県外からの観光客が見込めない状況であるが、「鶴岡泊まって応援キャンペーン」の継続延長で利用促進を図る。

観光分野における現状及び各種支援等の状況について（その2）  
（各種宿泊キャンペーンの割引状況）

旅行宿泊代金（1泊2日）が20,000円の場合の助成額及び自己負担額

国	GoToトラベル	停止中	割引額7,000円＋クーポン券3,000円	実質負担額10,000円
県	山形夏旅	実施中	割引額5,000円＋クーポン券2,000円	実質負担額13,000円
	県民泊まって・元気	実施中	割引額5,000円	自己・実質負担額15,000円
市	鶴岡泊まって応援	実施中	割引額3,000円＋特産品1,000円	実質負担額16,000円

GoToトラベル事業と併用した場合

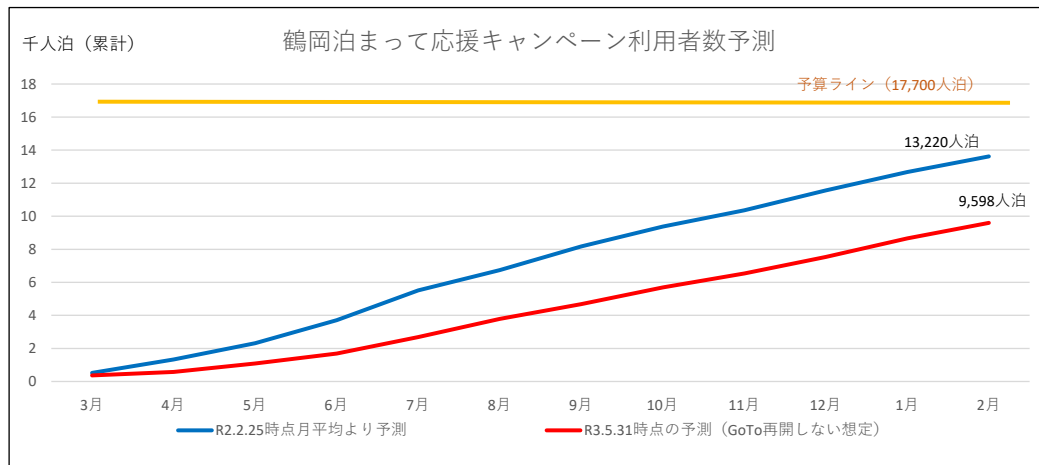
県	県民泊まって・元気	GoTo割引額7,000円＋クーポン券3,000円＋県割引額5,000円	実質負担額5,000円
市	鶴岡泊まって応援	GoTo割引額7,000円＋クーポン券3,000円＋市割引額3,000円＋特産品1,000円	実質負担額6,000円

山形夏旅キャンペーンと併用した場合には今後検討

市	鶴岡泊まって応援		
---	----------	--	--

各キャンペーンにおける予算規模

令和3年度	
山形県：山形夏旅	
予算額	約34億円
宿泊者数	約50万泊
対象者	山形県民限定
利用期間	令和3年12月31日宿泊分まで
鶴岡市：鶴岡泊まって応援キャンペーン	
予算額	約7千万円
宿泊者数	約1万7千泊分
対象者	鶴岡市民限定
利用期間	令和4年2月28日宿泊分まで
令和2年度鶴岡市実績	
支出予算	約4千万円
宿泊者数	約1万泊分



# 鶴岡市キャッシュレス促進・消費喚起事業 の実績及びアンケート結果について

鶴岡市商工観光部商工課  
令和3年6月2日



# 内容

## 1. 事業概要

(1) 概要

(2) 経緯

(3) 実績

## 2. アンケート

(1) 概要

(2) 主なご意見

(3) アンケート結果

# 1. 事業概要 (1) 概要

## 概要及び目的

- 中小規模店舗でのキャッシュレス決済について、消費者への還元を行うキャンペーンを実施し、還元する金額と広報費を市が負担する。
- 中小規模の市内事業者（小売業、飲食業、宿泊業、その他 サービス業等を対象 業種として想定）を支援するとともに、感染症対策やインバウンド向け地域消費拡大等のため、キャッシュレス決済導入を促進する。

## 予算規模及び効果

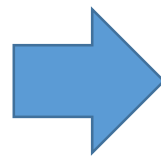
【当初予算額：1億5,400万円】

(令和2年度臨時交付金を活用)

還元分 150,000千円、広報費等 4,000千円  
(一回あたり2,000円×75,000回を想定)

※ 最大20%消費者に還元する場合、  
経済効果(見込) 7億5,000万円  
(10,000円分の消費に、2,000円分還元)

地元消費  
の喚起



キャッシュ  
レスの促進

- 購入・使用等に係る接触・混雑等の減少  
(新しい生活様式に対応した消費活動の促進)
- 感染症により売上が減少している宿泊施設や  
飲食店を含む中小規模の市内事業者支援
- 印刷費や人件費等の事務費削減
- 人手不足等の対応や、今後のインバウンド  
向け地域消費の拡大など

## 実施期間及び還元率

令和3年3月1日から4月30日までの2ヶ月間実施

還元率：20%

一人あたり付与上限額：2,000円/回、10,000円/月

# 1. 事業概要 (2) 経緯

日程	実施事項	状況・備考
令和2年10月	事業の検討開始	複数事業者からヒアリング
令和2年12月	12月定例会において提案説明	
令和3年1月	事業者との契約	
1月28日	広報2月号納品、配布開始 HP掲載、プレスリリース	・市民向け周知開始 ・加盟店募集開始
2月1日	広告掲載	地元新聞・地元コミュニティ誌
2月16日(火)－17日(水)	キャッシュレス講座 (FOODEVER)	ユーザー向け使い方サポート講座 65名参加
2月25日(木)	加盟店リストの公表	市HP掲載 922店舗
3月1日(月)	キャンペーン開始	
3月9日(火)－10日(水)	キャッシュレス講座 (FOODEVER)	ユーザー向け使い方サポート講座 52名参加
4月7日(水)まで	3月分実績報告の受領	
4月21日(水)	4月臨時会開催	追加補正の提案
4月30日(金)	キャンペーン終了	
5月12日(水)まで	4月分実績報告の受領	
5月21日、5月末まで	アンケートの実施、集計	市HP等で実施
6月2日(水)	第3回鶴岡市経済対策会議	アンケート結果公表

# 1. 事業概要 (3) 実績

還元額	3月実績	4月実績	総額
各種小売	¥ 84,995,436	¥ 102,682,214	¥ 187,677,650
飲食	¥ 25,386,298	¥ 25,786,122	¥ 51,172,420
サービス	¥ 22,649,618	¥ 28,169,305	¥ 50,818,923
娯楽	¥ 699,744	¥ 444,963	¥ 1,144,707
医療/保険/公共サービス	¥ 609,478	¥ 963,369	¥ 1,572,847
交通/宅配/運転代行	¥ 536,477	¥ 639,224	¥ 1,175,701
合計額	¥ 134,877,051	¥ 158,685,197	<b>¥ 293,562,248</b>
決済額	¥ 844,621,275	¥ 974,416,436	<b>¥ 1,819,037,711</b>

加盟店数の推移	1/31時点	4/15時点	増加率
各種小売	269	384	1.43
飲食	227	348	1.53
サービス	308	434	1.41
娯楽	4	4	1
医療/保険/公共サービス	2	3	1.5
交通/宅配/運転代行	0	13	-
合計	810	1186	<b>1.46</b>



## 2. アンケート (1) 概要

調査概要	: 本事業の効果を評価・分析し、今後の施策の参考とするため、加盟店・利用者の双方を対象としたアンケート調査を実施。	
調査実施期間	: 加盟店	令和3年5月6日(木)～5月21日(金)
	: 利用者	令和3年5月6日(木)～5月31日(月)
調査方法	: 加盟店	郵送によるアンケート送付(1284件送付) (返信用封筒、FAX、メール、WEBによる回答)
	: 利用者	市HPによるWEBアンケート(SNSによる広報を実施)
回答数	: 加盟店	674店舗(回答率 52.5%)
	: 利用者	65名

### 調査結果(概要)

**今回のキャンペーンは消費促進効果があったか、キャッシュレスを推進していくべきか**  
**加盟店**

- ・「大いに効果があった」「効果があった」と回答した店舗がおよそ9割であった
- ・キャッシュレスを推進していくべきと回答した店舗がおよそ6割を占める

### **利用者**

- ・「大いに効果があった」「効果があった」と回答した方の割合が9割以上であった
- ・キャッシュレスを推進していくべきという回答が約7割であった

**同様のキャンペーンを実施する場合、参加したいですか**

- ・店舗・利用者ともに、「参加したい」と回答した割合がおよそ9割であった

## 2. アンケート (2) 主なご意見

### 良かった点

○消費促進効果にかかること

- ・売上や来店者の増加
- ・新規顧客の獲得

(今までの客層と異なる客層の来店、地域外からの来店増など)

- ・客単価の増加

(ついで買いやまとめ買いの増加、高額商品の購入など)

○キャッシュレス効果に係ること

- ・キャッシュレスが促進された
- ・会計がスムーズ、楽であった
- ・現金決済が減り、感染対策になった

○その他の効果

- ・顧客満足 (お客様が喜んでくれた)
- ・賑わい効果・宣伝効果

### 要望や改善点

○キャンペーン手法に係ること

- ・還元率について  
(30%にしてほしい)

- ・決済上限額について

(一回あたりの決済額を上げてほしい、無制限にしてほしいなど)

- ・開催期間や時期について

(長期化・他の時期に開催してほしい)

- ・周知不足や説明不足、準備期間の前倒し等  
(店舗側、顧客側双方)

○キャッシュレス手法に係ること

- ・高齢者やスマホ所持していない人への不公平感
- ・振込手数料の負担
- ・事務負担や顧客対応への負担感
- ・現金収入の減少

## 2. アンケート (3) アンケート結果

アンケート結果 (加盟店向け)

## アンケート結果（加盟店向け）

### 1. 今回のキャンペーンをどこで知りましたか

	回答数	割合
1. PayPayからの通知	189	26.8%
2. 鶴岡市ホームページ	92	13.0%
3. 市広報（広報つるおか2月号）	111	15.7%
4. 鶴岡市公式SNS	6	0.8%
5. 新聞記事、コミュニティ誌の記事	45	6.4%
6. 新聞広告、コミュニティ誌の広告	23	3.3%
7. 口コミ（SNSなどを含む）	189	26.8%
8. 市内でのポスターの掲示	12	1.7%
9. その他	36	5.1%
未回答	3	0.4%

### 2. PayPayにはいつから加盟していましたか

	回答数	割合
1. 市キャンペーン以前から加盟していた	452	67.1%
2. 市キャンペーン告知から加盟した（1月末～2月末）	121	18.0%
3. 市キャンペーン開始後に加盟した（3月～）	100	14.8%
未回答	1	0.1%

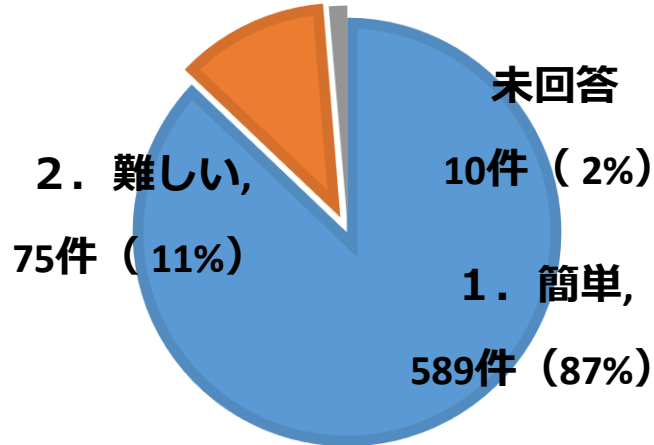
#### 【結果・考察】

- ・「PayPayからの通知」、「市HP・市広報」、「口コミ」で知った方がそれぞれ約3割
- ・CP以前から加盟：CP告知後に加盟した店舗の割合はおよそ2：1

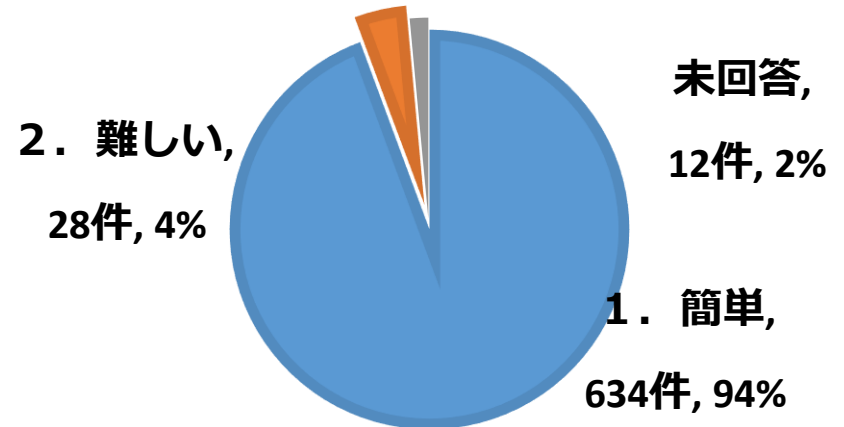
## アンケート結果（加盟店向け）

### 3. PayPayを利用した感想をお聞かせください

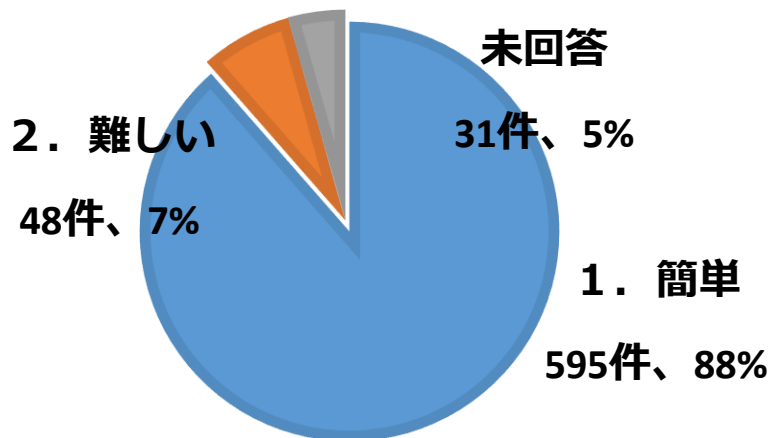
#### ① 加盟手続や準備について



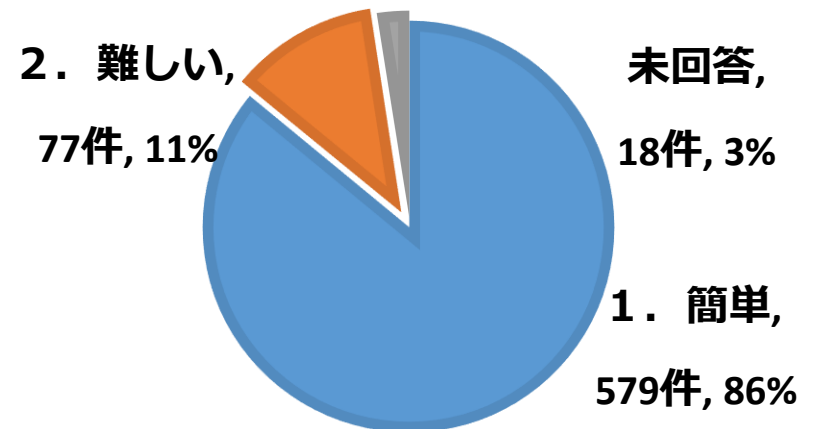
#### ② レジ業務について



#### ③ 入金手続について



#### ④ 売上管理について



#### 【結果・考察】

・いずれも「簡単だった」という回答が9割前後であった

## アンケート結果（加盟店向け）

### 4. キャンペーンをきっかけにキャッシュレスによる決済は増えましたか

	回答数	割合
1. 大幅に増加した	318	47.2%
2. 増加した	301	44.7%
3. 変わらない	49	7.3%
4. 減少した	0	0.0%
5. 大幅に減少した	0	0.0%
未回答	6	0.9%

### 5. 市外からのお客様の来店（決済）比率はどのように感じましたか

	回答数	割合
1. 1割程度未満であった	343	50.9%
2. 1～3割程度であった	231	34.3%
3. 3～5割程度であった	42	6.2%
4. 5割以上であった	18	2.7%
未回答	40	5.9%

#### 【結果・考察】

- ・キャッシュレス決済が「大幅に増加」「増加」と回答した店舗の合計は9割以上であった
- ・市外からの来店者割合は「1割程度未満」と回答した店舗がおよそ半数であった

### 6. キャンペーン期間中の決済割合はどのようになっていましたか （PayPayによる決済と、その他（現金・カード等）による決済の割合）

	回答数	割合
1. PayPayが50%以上であった	195	28.9%
2. PayPayが20～50%であった	303	45.0%
3. PayPayが20%未満であった	157	23.3%
未回答	19	2.8%

### 7. 今回のキャンペーンによりどのくらい売り上げが増加しましたか （昨年同月売上等との比較）

	回答数	割合
1. 50%以上増加した	33	4.9%
2. 20～50%程度増加した	148	22.0%
3. 20%未満だが増加した	273	40.5%
4. 増加しなかった	193	28.6%
未回答	27	4.0%

#### 【結果・考察】

- ・ PayPayの決済割合が50%以上と回答した店舗がおよそ3割、20%以上では7割を占める
- ・ CPによりわずかでも売上が増加した店舗は約7割、増加しなかった店舗が約3割

## 8. 今回のキャンペーンは消費促進効果があったと感じますか

	回答数	割合
1. 大いに効果があった	261	38.7%
2. 効果があった	333	49.4%
3. 効果はなかった	66	9.8%
未回答	14	2.1%

## 9. キャッシュレス決済は推進していくべきだと考えていますか

	回答数	割合
1. 推進していくべき	406	60.2%
2. どちらともいえない	226	33.5%
3. 推進していく必要はない	17	2.5%
未回答	25	3.7%

## 【結果・考察】

- ・CPは「大いに効果があった」「効果があった」と回答した店舗がおよそ9割
- ・キャッシュレスを推進していくべきと回答した店舗がおよそ6割を占める



## アンケート結果（加盟店向け）

### 10. 今回のキャンペーンでよかったことを教えてください（自由回答）

項目	数	割合	主なご意見
出入金、レジの簡略化	74	14.4%	釣銭・両替減。決済スピードが上がった
キャッシュレスの促進	72	14.0%	年配の方にも予想以上に利用いただけた
売上増・維持	68	13.2%	売上減少が抑制、購買意欲が向上した
顧客満足の向上	66	12.8%	お客様が喜んでくれた
新規客の増加	65	12.6%	今までと異なる層の方に来客いただけた
宣伝効果があった	38	7.4%	認知度向上、加盟店として覚えてもらった
来店者の増加	34	6.6%	集客効果、来店頻度が上がった
客単価の増加	33	6.4%	ついで・まとめ買い増加、高額商品の購入
感染対策になった	31	6.0%	現金授受の回避、混雑緩和になった
店の負担がなかった	22	4.3%	手数料無料で負担少、手続き簡単だった
賑わいが向上した	12	2.3%	のぼりの効果あった、まちに活気が出た

#### その他のご意見

- ・プレミアム商品券やGo To Eat食事券等に比べ、処理が簡単。券の購入と比べて平等でよい。
- ・酒田との相乗効果あった。庄内一円での開催など広域実施や他市連携をすべき
- ・割引をすると通常販売に悪影響が出るので、頻発すべきではない。還元率20%が妥当である。
- ・利用限度額・上限額がありよかった、地元店限定でよかった（小規模店舗の売上促進）<sup>15</sup>

## アンケート結果（加盟店向け）

### 1.1. キャンペーンで悪かったこと、改善すべき点を教えてください（自由記載）

項目	数	割合	主なご意見
還元率30%にしてほしい	98	20.0%	お得感が少ない。酒田市同様にすべき。
高齢者・スマホ不所持者への不公平感	76	15.5%	年配の方等への配慮が足りない。使えない人がいることが不公平。
準備、PR不足	72	14.7%	仕組や手続等の事前周知が足りない
上限額の変更	66	13.4%	単価に応じて上げてほしい、一回あたりの決済上限額をなくしてほしい
開催時期、期間の見直し	48	9.8%	閑散期や感染収束後に実施すべき
入金・入金手数料の見直し	36	7.3%	入金が遅い、手数料負担してほしい
手続き、客対応の負担増	29	5.9%	レジでの説明や対応が増えた
現金収入の減少	24	4.9%	資金繰りが大変になる
分割対応などへの負担	13	2.6%	分割要望や現金払併用により負担増
ペイペイ単独での実施	11	2.2%	他の決済方法も対象としてほしい
店舗限度額の設定	9	1.8%	上限に達し使用できなくて困った
チャージ方法の利便性	9	1.8%	A T Mが少ない、操作が難しい

#### その他のご意見

- ・ C P 終了後、売上が減った。5/1から酒田にお客様が流れていったと思う。
- ・ 還元率10%で半年等、もう少し緩やかなキャンペーンでも良い。
- ・ 申込から加盟登録に時間がかかった、販促物の到着や加盟店リスト公表が直前であった<sup>6</sup>

## 1 2. 同様のキャンペーンを実施する場合、参加したいですか

	回答数	割合
1. 参加したい	597	88.6%
2. どちらともいえない	54	8.0%
3. 参加したくない	7	1.0%
未回答	16	2.4%

## 1 3. 同様のキャンペーンは、いつ頃開催すべきだと思いますか

	回答数	割合
1. R 3 上半期（夏～秋頃まで）	349	51.8%
2. R 3 下半期（冬～春頃まで）	227	33.7%
3. R 4 以降	34	5.0%
4. 実施する必要はない	21	3.1%
未回答	43	6.4%

## 【結果・考察】

- ・同様のCPを実施する場合「参加したい」と回答した店舗がおよそ9割
- ・開催希望時期については、R 3 上半期が約半数、続いてR 3 下半期という回答となった

## 1 4. 市で行うべき支援策や経済対策について、またその他のご意見やご要望をお寄せください（自由記載）

### 支援策や経済対策についてのご意見

項目	数
売上減少している店舗への支援金や感染対策への助成金 休業等への補償制度、税の軽減などを希望する	139
キャンペーンを評価、次回以降の開催を希望する	123
市への励まし、感謝のお言葉	25
感染症対策（ワクチンや自粛要請）、コロナ情報発信の充実を求める	21

### その他の施策についてのご意見

項目	数
新たな施策や意見を生かす仕組みづくりをすべき	5
イベントの企画や開催、賑わいづくりをすべき	4
地産地消を促進する経済対策などをしてほしい	3
若者定着、移住の促進などに力を入れるべき	2
子育て支援の充実を希望する	1

## アンケート結果（利用者向け）

# アンケート結果（利用者向け）

## 1. お住まいについて

	回答数	割合
1. 鶴岡市内	62	95.4%
2. 鶴岡市を除く山形県内	2	3.1%
3. 山形県外	1	1.5%
未回答	0	0.0%

### 【結果・考察】

- ・回答いただいた方の大半が鶴岡市内の方であった

## 2. 年齢について

	回答数	割合
1. 10～20代	2	3.1%
2. 30～40代	40	61.5%
3. 50～60代	22	33.8%
4. 70代以上	1	1.5%
未回答	0	0.0%

### 【結果・考察】

- ・年代は30-40歳代、50-60歳代の方が大半を占めた

## 3. キャンペーンの利用状況について

	回答数	割合
1. 利用した	63	96.9%
2. 利用していない	2	3.1%
未回答	0	0.0%

### 【結果・考察】

- ・キャンペーンを利用いただいた方からのご回答が大半となった

#### 4. スマートフォンをいつから利用していますか

	回答数	割合
1. 1年以上前から	63	96.9%
2. 利用して1年以内	1	1.5%
3. 今回のキャンペーンで利用	0	0.0%
4. 利用していない	1	1.5%

##### 【結果・考察】

- ・ 1年以上前から利用している方が大半であった

#### 5. キャッシュレス決済（電子マネーやスマートフォン決済など）はいつから利用していますか

	回答数	割合
1. 1年以上前から	47	72.3%
2. 利用して1年以内	8	12.3%
3. 今回のキャンペーンで利用	9	13.8%
4. 利用していない	1	1.5%

##### 【結果・考察】

- ・ 1年以上前から利用している方が7割である一方、今回のキャンペーンから利用し始めた方は1割程度

#### 6. PayPayによる決済はいつから利用していますか

	回答数	割合
1. 1年以上前から	25	38.5%
2. 利用して1年以内	17	26.2%
3. 今回のキャンペーンで利用	21	32.3%
4. 利用していない	2	3.1%

##### 【結果・考察】

- ・ PayPayについては今回のキャンペーンから利用し始めた方が3割強であった

## 7. 今回のキャンペーンをどこで知りましたか

	回答数	割合
1. PayPayからの通知	5	7.7%
2. 鶴岡市ホームページ	12	18.5%
3. 市広報（広報つるおか2月号）	16	24.6%
4. 鶴岡市公式SNS	5	7.7%
5. 新聞記事、コミュニティ誌の記事	1	1.5%
6. 新聞広告、コミュニティ誌の広告	0	0.0%
7. 口コミ（SNSなどを含む）	20	30.8%
8. 市内でのポスターの掲示	3	4.6%
9. その他	3	4.6%
未回答	0	0.0%

## 【結果・考察】

- ・ SNSを含む口コミで知った方がもっとも多かった。  
次いで、市広報、市HP、市公式SNSで知った方が多かった



## 8. PayPayを利用した感想をお聞かせください

### ① アカウント登録について

	回答数	割合
簡単だった	64	98.5%
難しかった	1	1.5%

### ② チャージについて

	回答数	割合
簡単だった	63	96.9%
難しかった	2	3.1%

### ③ 決済処理について

	回答数	割合
簡単だった	62	95%
難しかった	3	5%

#### 【結果・考察】

- ・いずれの手続きについても、回答いただいた方の大半が「簡単だった」という回答であった

## 9. 本キャンペーンのポイント還元はどれくらいありましたか（期間内合計額）

	回答数	割合
1. 10,000円～20,000円相当額	37	56.9%
2. 5,000円～9,999円相当額	13	20.0%
3. 1,000円～4,999円相当額	12	18.5%
4. 1,000円未満相当額	1	1.5%
5. 利用しなかった	2	3.1%
未回答	0	0.0%

## 10. キャンペーンをきっかけにキャッシュレスによる決済は増えましたか

	回答数	割合
1. 大幅に増加した	27	41.5%
2. 増加した	26	40.0%
3. 変わらない	12	18.5%
4. 減少した	0	0.0%
5. 大幅に減少	0	0.0%
未回答	0	0.0%

### 【結果・考察】

- ・ 10,000円以上利用された方が半数以上であり、利用した方に限る還元平均額は11,000円程度
- ・ キャンペーンによりキャッシュレス決済が増えたと回答した方が約8割

## 1 1. キャンペーンをきっかけに加盟店舗を利用する機会は増えましたか

### ① 以前利用したことがあるお店

	回答数	割合
1. 大幅に増加	15	23.1%
2. 増加した	31	47.7%
3. 変わらない	19	29.2%
4. 減少した	0	0.0%
5. 大幅に減少	0	0.0%

### ② 今まで利用したことがないお店

	回答数	割合
1. 大幅に増加	13	20.0%
2. 増加した	37	56.9%
3. 変わらない	15	23.1%
4. 減少した	0	0.0%
5. 大幅に減少	0	0.0%

### 【結果・考察】

- ・「以前利用したことがあるお店」を利用する機会が増えたという方はおよそ7割であった
- ・「今まで利用したことがないお店」を利用する機会が増えたという方は8割近くになった
- ・通常利用するお店を利用する機会が増えたことに加えて、今まで利用したことがないお店を利用するきっかけにもなったと考えられる

**1 2. 今回のキャンペーンにより現金払いや他の決済手段も含め、普段よりどれくらい多く消費したと感じますか**

	回答数	割合
1. 50%以上多く消費した	18	27.7%
2. 20～50%程度多く消費した	30	46.2%
3. 20%未満だが多く消費した	8	12.3%
4. 影響はなかった	9	13.8%
未回答	0	0.0%

**1 5. 今回のキャンペーンは消費促進効果があったと感じますか**

	回答数	割合
1. 大いに効果があった	43	66.2%
2. 効果があった	17	26.2%
3. 効果はなかった	5	7.7%
未回答	0	0.0%

**【結果・考察】**

- ・ CPにより、わずかでも普段より多く消費したと回答した方の割合は9割弱
- ・ 消費促進効果があったと回答した方の割合が9割以上であった

## アンケート結果（利用者向け）

### 1.3. 今回のキャンペーンでよかったことを教えてください（自由記載）

項目	数	主なご意見
キャッシュレスを利用するきっかけとなった	8	はじめて使用する機会になった 意外と簡単に利用のきっかけとなった
十分な還元率	8	お得に買い物できた、20%還元が魅力だった
新規店舗への利用機会	7	加盟店リストで知ったお店を利用した 地元店舗を新規開拓する機会になった
購買意欲の増加	7	まとめ買いした、普段行かないお店に行った、 高額な買い物に利用できた
地元店舗への支援に繋がった	5	商店街や地元店舗を利用する機会が増えた
加盟店が多かった、加入増えた	3	加盟店が多く便利だった 加盟店が増えてよかった
開催時期・期間がよかった	3	2か月間利用できたのがよかった
感染症対策になった	2	非接触のため感染予防になった

#### その他のご意見

- ・ 現金がないとき便利だった、還元額がすぐ分かったことがよかった
- ・ 対象店舗にのぼりがあり分かりやすかった

## 14. キャンペーンで悪かったこと、改善すべき点を教えてください（自由記載）

項目	数	主なご意見
還元率を30%にしてほしい	16	酒田市と同様の還元率にしてほしい
上限額を無くしてほしい 上限額を上げてほしい	13	高額商品の購入に効果が薄いため 一回の利用限度額は不要
加盟店が少ない 対象店舗を拡充すべき	7	スーパーの対象店舗が増えるとよい コンビニ・チェーン店も対象にして ほしい
加盟店リストがみづらい	6	店舗を検索できるようにしてほしい
不公平であり実施すべきでない PayPayに限定すべきでない	2	商品券や現金の配布の方がよかった スマホないのでメリットがない

## その他のご意見

- ・今後手数料が発生することが懸念される
- ・ストアスキャン型への購入補助を行うと利用促進に繋がると考えられる
- ・分割決済や店舗限度額について、加盟店への指導や市の周知が不足している

## アンケート結果（利用者向け）

### 16. キャッシュレス決済は推進していくべきだと考えていますか

	回答数	割合
1. 推進していくべき	46	70.8%
2. どちらともいえない	17	26.2%
3. 推進していく必要はない	2	3.1%
未回答	0	0.0%

#### 【結果・考察】

- ・キャッシュレスを推進していくべきという回答が約7割であった

### 17. 同様のキャンペーンを実施する場合、参加したいですか

	回答数	割合
1. 参加したい	61	93.8%
2. どちらともいえない	3	4.6%
3. 参加したくない	1	1.5%
未回答	0	0.0%

#### 【結果・考察】

- ・参加したいという回答が9割以上であった

### 18. 同様のキャンペーンは、いつ頃開催すべきだと思いますか

	回答数	割合
1. R3上半期（夏～秋頃）	47	72.3%
2. R3下半期（冬～春頃）	15	23.1%
3. R4以降	0	0.0%
4. 実施する必要はない	3	4.6%
未回答	0	0.0%

#### 【結果・考察】

- ・開催希望時期については、R3上半期が7割以上、続いてR3下半期が2割程度という回答となった

## 19. 市で行うべき支援策や経済対策について、またその他のご意見やご要望をお寄せください（自由記載）

### 支援策や経済対策についてのご意見

項目	数	主なご意見
キャンペーンを評価する 次回以降の開催を希望する	21	利便性や利用効果からキャッシュレスは妥当。 商品券より多くの方が公平に参加しやすい。 市外の人から利用いただくよい機会となった。 高齢者へキャッシュレス体験機会を設ける。
プレミアム商品券や現金の支給 を希望する	12	商品券全戸配布、低所得者向けの現金支給などを行うべき。 高齢者やスマホを持っていない人へ公平に支援すべき。商品券が確実。

### その他の施策についてのご意見

- ・ 一部の人に支援が偏らないように。施策が平等でないと感じる。
- ・ いろいろな職種の人との意見交換の機会をもつこと
- ・ 交通手段維持のための支援、飲食店のテイクアウト利用に対する支援
- ・ ショッピングモールの誘致
- ・ 教育環境の充実を図ること。医療従事者やサービス業への手当など